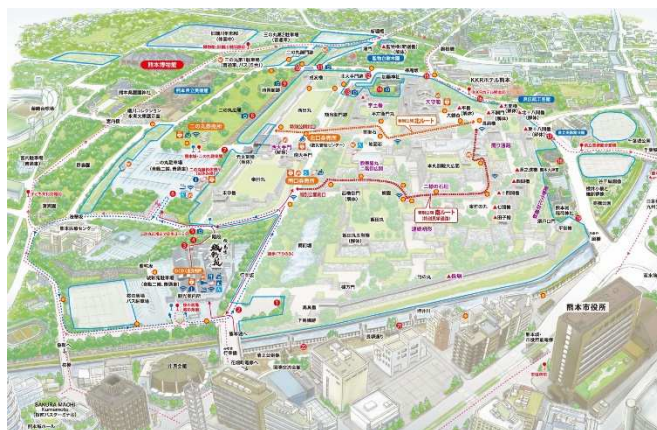


横浜支部

エキスカーション

10月1日（土）は、横浜支部が3名の出席であり、コロナ禍であることから熊本城を中心とした7つの建物を見る「まち歩き」を行いました。



① 熊本城（9：30～10：30）

「日本三名城」の1つでその美しさ、雄大さは一見の価値あり。別名「銀杏城」。築城は1607年で尾張出身の武将・加藤清正（1562-1611年）によるもの。熊本城の代名詞にもなっている“武者返し”は、ゆるやかで、簡単に登れるように見えるが、上に向えば向かうほど反り返りが激しくなり、武士はもちろん、身軽な忍者でさえも、登れないようになっている。

明治時代には西南戦争の戦場。

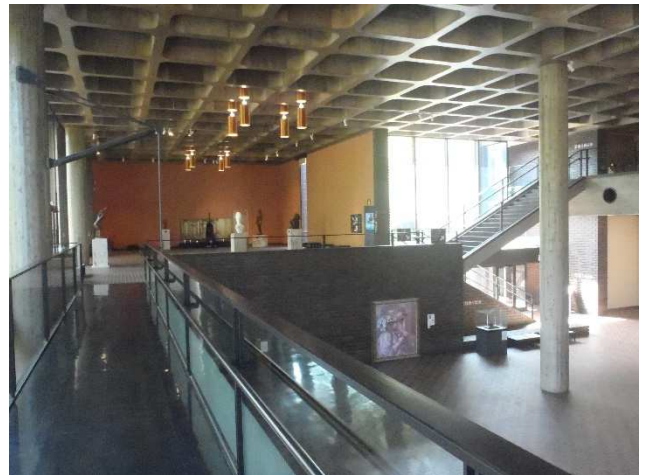
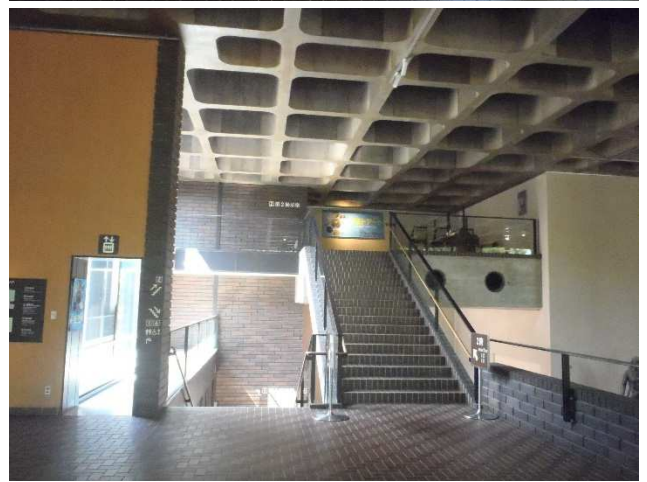
現在、熊本城では特別公開を実施し、被害状況や復旧工事の様子に加え、2021年6月からは天守閣内部も観覧可能となりました。



② 熊本県立美術館（10：30～11：30）

ここからは県西支部の小林さん、稲葉さんが合流しました。

1976年3月4日開業。床面積は5,084㎡。熊本県立美術館は、国の特別史跡である熊本城の二の丸広場の一角に位置し、古今東西の美術を網羅する総合美術館として開館され、考古、絵画、版画、彫刻、工芸、書蹟などが収蔵・展示され、なかでも装飾古墳室は古代の造形美をわが国における美術の原点として捉えた特徴ある施設で、設計者の前川國男のもっとも代表的な作品と言える。

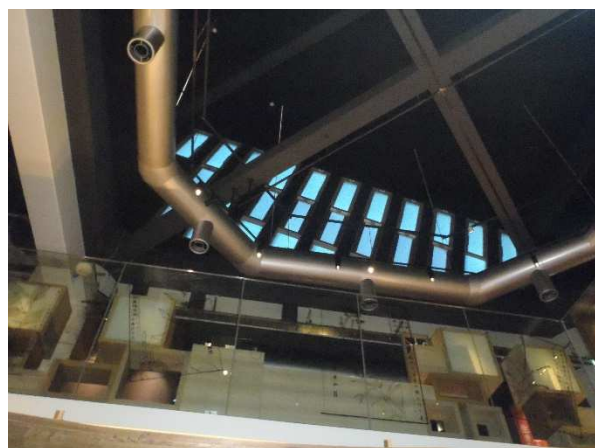


③ 熊本博物館（11：30～12：30）

熊本県熊本市中央区古京町3-2

1952年開館で設計は黒川紀章。

熊本博物館では「未来へつなぐ熊本の記憶」をテーマに、古代から現代まで約4100点を展示。1階は旧石器時代や西南戦争等の展示、2階は熊本に生息する動植物等の展示、地下にはプラネタリウムがあります。



④ 熊本県伝統工芸館（14：00～14：45）

熊本県熊本市中央区千葉城町3-3 5

1982年に開館で設計は菊竹清訓。

熊本県伝統工芸館は、熊本県熊本市にある公立の文化施設で肥後象がん、陶磁器、刃物、竹製品、染織物など熊本県の伝統工芸品を中心に展示している。

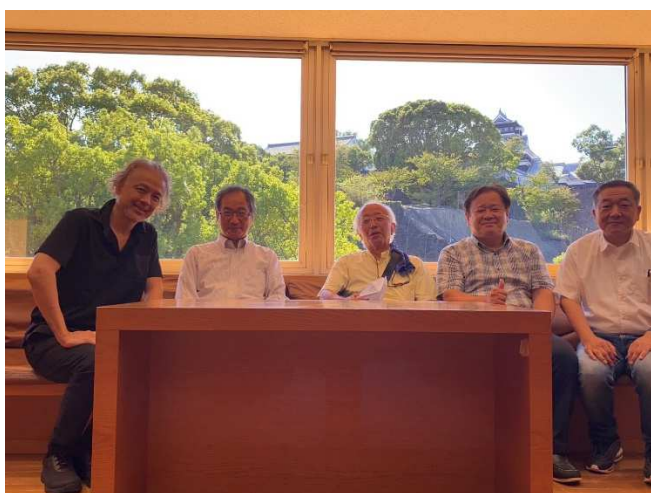
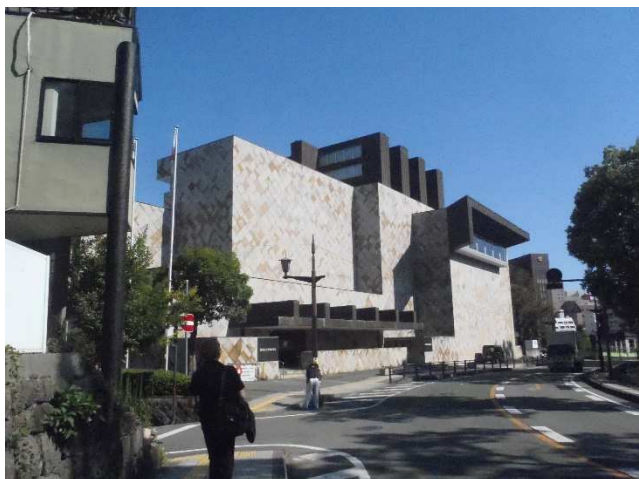


⑤ 熊本県立美術館分館（14：45～15：30）

熊本県熊本市中央区千葉城町2-18

建築様式が印象的な、4階建ての美術館。地元
のアーティストによるアートや工芸品を展示
し、カフェも併設している。

熊本県立美術館は、くまもとアートポリスプロ
ジェクト事業の一環として、旧熊本県立図書館
を改築し、1992年10月に開館。展示会場（3
室）とギャラリー（1室）があり、貸会場とし
て地元作家の個展や団体展、学生の卒業展など
に利用されている。



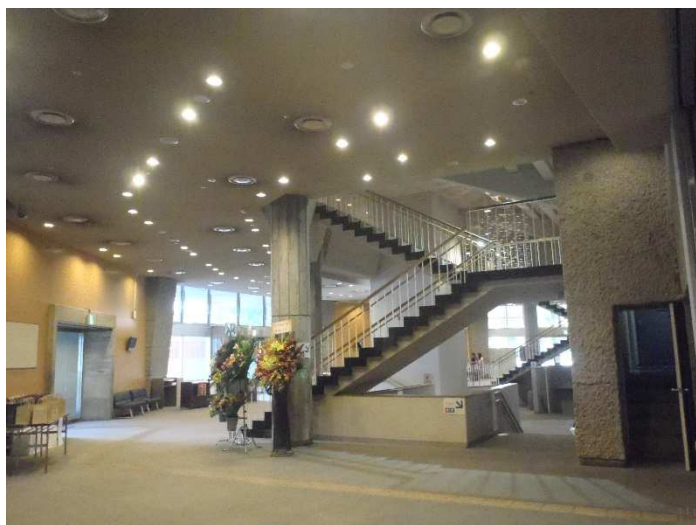
⑥ 熊本市民会館（15：45～16：30）

熊本県熊本市中央区桜町1-3

1968年に開館。設計は佐藤 武夫

熊本市民会館は、熊本県熊本市中央区にある
ホール。熊本城に近く、熊本桜町バスターミ
ナルから徒歩5分程度にある。

愛称は「市民会館シアーズホーム夢ホール」。
熊本市公会堂を前身とし、大ホールは1,591
席収容で、有名アーティストのコンサートな
ども行われている。延べ床面積は9,197m²。



⑦ 熊本駅 (17:00~18:00)

熊本県熊本市西区春日3丁目15

熊本駅は、熊本県熊本市西区にある、九州旅客鉄道・日本貨物鉄道の駅である。JR九州の駅は春日三丁目に、JR貨物の駅は蓮台寺四丁目にある。

安藤忠雄が設計した駅舎の表玄関・東口の外壁は高さ17m、幅240mで熊本城の石垣「武者返し」をモチーフとし、上に行くほど急角度になる反りをイメージした外観で風格と熊本らしさを表現している。

